

2020年5月

科学基礎論学会
会員各位

科学基礎論学会
奨励賞選考委員長 黒川英徳

本学会では、若手研究者育成のため、優れた論文の著者を対象にした奨励賞を設けています。つきましては、2019年度奨励賞の会員による推薦を下記の要領で募集することといたします。推薦は自薦・他薦を問いませんが、2020年8月31日(月)必着で、事務局に郵送もしくはメールにてご提出ください。

【選考要綱】

『科学基礎論研究』、*Annals* いずれかの機関誌に2019年度に発表された論文の著者で、投稿受付時点で45歳未満の会員を対象とする。ただし、選考時点で理事・選考委員である者、ならびに、その時点までにそのいずれかを経験している者を除く（次頁「奨励賞選考対象者一覧」参照）。単年度を範囲に1ないし2名を選出する。副賞として10万円を授与（2名の場合は折半）。なお、奨励賞選考委員は理事会が選出する。

【推薦要領】

- (1). 所定の書式（ウェブサイトからダウンロードできます）を用い、郵送もしくはメールで事務局へ2020年8月31日(月)までに送付する。
- (2). 自薦、他薦のいずれでもよい。
- (3). 記名で、会員一人あたり2名まで推薦できる。
- (4). 推薦にあたり400字以内でその理由をつける。

【選考結果】

選考委員会で選考し、理事会で承認する。結果は本人に通知し、学会ウェブサイトで公表する。表彰式（および副賞の授与）は秋の研究例会で行う。

【送付先】

〒108-0023
東京都港区芝浦2-14-13 MCKビル2階
笹氣出版印刷株式会社内
科学基礎論学会事務局
E-mail : kisoron@sasappa.co.jp

以上

2019年度 奨励賞選考対象者一覧

掲載雑誌	氏名	所属（投稿時点）	論文名
『科学基礎論研究』 47巻1号	谷川卓	高崎経済大学	自然法則の様相的身分
『科学基礎論研究』 47巻1号	細川雄一郎	首都大学東京	信念・知識・可能性—ゲティア反例の多領域様相論理による分析を通じて—
『科学基礎論研究』 47巻1号	山田圭一	千葉大学	眺望から人称を排除することができるのか— 野矢茂樹『心という難問—空間・身体・意味』への懐疑論者からの応答—
『科学基礎論研究』 47巻2号	石田知子	慶應義塾大学	表現型についての遺伝情報は存在するのか— 目的意味論の観点から—
『科学基礎論研究』 47巻2号	小川祐輔	筑波大学	最大共通要素をたてる見方に抗うということ— マクダウェルの選言説の解明と評価—
『科学基礎論研究』 47巻2号	堀内進之介	首都大学東京	技術的進歩と民主的社会変革の融合の可能性— テクノ進歩派によるエンハンスメントの正当化の試み—

----- ✂ ----- ✂ -----
科学基礎論学会

2019年度奨励賞の推薦について（提出は 2020年8月31日（月） 必着）

推薦者氏名

被推薦者氏名と論文名：

推薦理由（400字以内）：